



甲 本次郎

プロローグ

どうも 甲本次郎です。

この度は本書、

【メールウェポン】

～1通のメールに込めた思いをあの子の心に届けるためのメール術～

を手にとっていただきありがとうございます。

いきなりですが、あなたはメールを使いこなせていますか？

メールにはまだまだあなたの知らない大きな可能性が眠っています。

僕はこれまで【モテるための絶対ルール！】などのメルマガを発行しつつ
本当に多くの方の恋愛相談を受けてきましたが、
ほとんどの方はどうもメールの持つ真価を引き出しきれていないようですね。

それどころか、逆にメールに関して様々な悩みを抱えている人の方が多い
というのが現状のようです。

そこで、この甲本次郎が悩める子羊を救うべく（笑）
メールに関するあらゆる悩みを解決することを目指して立ち上りました。

そうして生まれたのが本書です。

もしかしたらあなたはこれまでメールを上手く使いこなせないがばっかりに
たくさんの苦悩を味わってきたかもしれません。

ご安心下さい。

本書を最後まで読み終わった頃には、メールを送るたびに彼女の心が
離れていくように感じるあの切なく虚しい感覚から解放されているはずです。

なぜなら本書はあなたの送る1通のメールを
恋愛における武器、いや、「兵器」に変貌させるからです。

言うなれば、本書は**1通のメールからミサイルを生み出すための設計書**です。

あなたの持つ携帯の送信ボタンがこれからはミサイルの発射ボタンとなり
彼女の心を激しくグラつかせるようになります。

その結果

彼女はあなたからのメールを今か今かと待ちわびるようになるでしょう。

そうなれば、あなたに惹かれていくのも時間の問題です。

ぜひとも、このレポートをあなたの恋愛に役立ててください。
とことんまで使い倒してください。

今まで恋愛で多くの苦悩と挫折を味わってきたなら
メールを上手く活用することで一歩でも幸せに近づいて欲しいと思います。

このレポートがあなたの恋愛にわずかでも光をさせるものになれば幸いです。

甲 本次郎

<目次>

プロローグ

第1章 メールの大前提

- ★ なぜメールを送るのか？
- ★ メールは手段の一つ

第2章 メールを使いこなすための基本必須知識

- ★ メールとは何ぞや？

◆ メールの特徴 ◆

- ・履歴が残る
- ・送る前に見直せる
- ・いつでも好きな時に送れる
- ・話の主導権を握りやすい
- ・メールとは基本的には文字情報である
- ・携帯メールならほぼ確実に読まれる
- ・言葉が軽いと思われる
- ・簡単に無視できる
- ・1対1でやり取りができる

- ★ 女性をドン引きさせ自らを奈落の底へ突き落とすイタいメール集

- ・テンションを下げるようなメール
- ・ナヨナヨしたメール
- ・下ネタを入れたメール
- ・催促メール
- ・まだそんなに仲良くない相手からの「今何してるの？」メール
- ・空気を読んでいないメール
- ・距離感を無視したメール
- ・負のギャップを引き起こすメール

◆コラム ~「？」さえつけときや返事が来るのか?~◆

第3章 テクニックを学べ

★ 基本テクニック

- ・ 名前を入れる
- ・ 返信するタイミングの見極め方
- ・ 件名の効果的な使い方
- ・ 「自己開示」 + 「質問」の方程式

◆コラム ~ファーストメールについて~◆

★ 上級テクニック

- ・ 相談メール
- ・ 1通読みきりメール
- ・ 以心伝心メール
- ・ 一気に揺さぶりをかけるテクニック
- ・ 相手の頭からあなたが離れなくなるテクニック

◆コラム ~どのくらいの連絡頻度がいいのか?~◆

第4章 戦略的メール術

★ 最強の恋愛戦略 QUEST の概要

★ メールにおける QUEST 戦略

まとめ

本書の復習用にお役立てください

おまけ

甲本次郎が出している情報の一覧です

エピローグ

第1章 メールの大前提

★ なぜメールを送るのか？

さて、質問です。

あなたはなぜメールを送るのでしょうか？

10秒でいいので考えてみてください。

女性に

自分がマメな男だと思われるため。

デートという提案を承諾させるため。

尊敬してもらうため。

自分という存在を忘れないでいてもらうため。

恋愛対象として見てもらうため。

共感してもらうため。

自分を好きになってもらうため。

:

:

などなど

まあ、パツと思い浮かぶのはこんな感じでしょうか。

これらの答えというのは完全に間違っているわけではありません。

でも、残念ながらもっとも核心的な部分をとらえたものではないんですよ。

メールを送る目的はたった1つ

“思いを伝えるため”

です。

ここが一番重要なのに、これを言っている人は見たことがありませんね。

なぜメールを送るのかもわかっていないのに
本当の意味で女性の心に響くメールが送れるでしょうか？

僕はそこんところが疑問です。

メールを送る目的は相手に自分の思いを伝えるためなんですよ。
それを伝えた結果として相手に何らかの変化や反応があるだけです。

僕らにできることは思いを伝えることまで。

それ以上は正直相手任せです。

しかし、きちんとと思いを伝えることができれば
相手にこちらが望むような変化や反応をしてもらうことはできますが。

とにかく重要なのは「思い」だってことです。

何を伝えたいのか？

これを頭の片隅にでもいいので置いておいてください。

キミが気になっているって伝えたいのか
キミとデートがしたいって伝えたいのか
キミを大切に思っているって伝えたいのか
キミが好きだって伝えたいのか
キミを必要としているって伝えたいのか
キミの幸せを願っているって伝えたいのか

伝えたい思いっていうのは個人個人で別に何でもいいんですが
根本にはそれがあるってことが大切です。

これがないことにはいくらメールを送っても意味ないですから。

キミが気になっているって思いがあるからこそ

だから、

もっとキミを知りたくてメールした

だから、

デートに誘った

って感情が生まれてくるんですよね。

つまり、そもそも何の思いもないメールでは
相手の心には響かないってことです。

頭と頭は交信できます。

心と心も交信できます。

しかし、

頭と心は交信できません。

小説を読んで感動する人はいても、
パソコンの説明書なんかを読んで感動する人はいませんよね（笑）

どちらも同じ文章には違いないんですよ。

ただ、小説には筆者の思いが込められていますが
説明書ってのはただ説明しているだけなので、そこには思いがありません。

頭で理解はされても、心に響かせることはできません。

メールについてもまったく同じことが言えますよね。

頭で書いたらダメなんですよ。

思いを込めなきや！

そしたら、相手の心に届きます。

そして、心を動かすことができれば
彼女はあなたにとってうれしい反応をしめしてくれることでしょう。

あなたのことが気になり始めるかもしれない。
あなたからメールが届くのを待ち遠しく思うようになるかもしれない
あなたのことをもっと知りたくなるかもしれない。
あなたに会いたくなるかもしれない。
あなたを好きになるかもしれない。

どんなうれしいことが起こるかは送ってみてのお楽しみですが
全ては思いを込めた結果です。

思いを込める

ホントにこれだけでメールが恋愛におけるウェポン（兵器）になりますよ。

テクニックや戦略というのは思いを適切に相手に伝える手段に過ぎません。

知り合ってまだ間もないのに

「すきだすきだすきだ・・・」

という思いをひたすら伝えるのは重いと思われます。
(ダジャレじやありませんよ 笑)

「デートしよう！」

とふつうに言っても伝わらないことが多いです。

なぜならそのメッセージは相手の頭に受信されるから。

頭で受信されたものは脳内会議の対象となり

「あの男がデートに誘ってきたけど・・・さて、どうするかな？」

という風にメリットがあるかどうか検討されます。

その結果、メリットなしと結論付けられれば・・・

悲しくなるので皆まで言うのはやめておきましょう（笑）。

しかし、「キミとデートがしたい！」というメッセージが
相手の心に響いたなら即座に「行きたい！」と思われるんですよ。

「大切に思っている」ってことを伝えたい場合もそうですね。

単純に文字にするよりも何かメールを使って
サプライズを演出してあげた方がより
こちらの思いが相手に伝わることが多いでしょう。

間違った思いの伝え方をして悲しい目に会わないので
テクニックや戦略というのは必要です。

ほとばしる熱い思いをそのままの形で伝えてしまっては
相手も驚いてしまいます。

その結果、拒絶されてしまうかもしれません。

そうならないためにテクニックや戦略というもので
包み込んで受け取りやすくしてやらなければいけません。

しかし、それでも根本に据えておかなければいけないのは
「あなたの彼女への思い」だってことを
いつも忘れないようにしておいてください。

これから先、たくさんのメールテクニックや効果的な戦略について
お話ししていくますが、くれぐれも一番大切なことを忘れないように。

★ メールは手段の一つ

メールを送るそもそもその目的は

“思いを伝えること”

と言いました。

これがわかっていれば当たり前のことなんですが
メールだけに頼る必要はありませんよね。

思いを伝えるために使える手段はメールだけに限りません。

会話、しぐさ、身なり、デート、
スキンシップ、手紙、プレゼント、告白・・・などなど

たくさんありますよね。

使えるものは全部使いましょう！

なので、考え方として正しいのは

メール “も” 使う

ということです。

いくらたくさんテクニックを身につけたからといって
メールだけに依存しているとメールが使えなくなつたときに
どうしていいかわからなくなってしまいますから。

それに、いくらメールをウェポン（兵器）にできたといっても
1つの武器で攻略できるほど恋愛というのは簡単なもんじゃありません。

これは胆に銘じておいてくださいね。

第2章 メールを使いこなすための基本必須知識

★ メールとは何ぞや？

当然のことながらメールを使いこなすには
そのメールという媒体が持つ特徴やメリット、デメリットなどの
詳細な情報を得ておかなければいけません。

そこを知らないと本当の意味でメールを使いこなすことはできませんからね。

あなたにはこれからメールのプロフェッショナルになってもらいます。
そのためにはとことん突き詰めるのは当然のことですよ。

が、多くの人はそんなこと考えたこともないはずです。

ただ何となくメールを送っている。

だから、思うような効果が得られない。

車の運転でたとえると

ただ乗れればいいってもんじやないですよね。

信号や標識の意味がわからなければ事故りますから（苦笑）

何気なく使っているメールについても
知っているようで知らないことが多いんじゃないかと思います。

また車の例で言えば

ハイオクで走る車に「こっちの方が安いから♪」って理由で
ディーゼル燃料（軽油）を入れたらどうなるか・・・？

車が壊れちゃいますよね（苦笑）

これは知らなかつたでは済まされないんですよ。

メールでも同じことが言えるんです。

ここんところは正直つまらない話に思えるかもしれません
が決して適当に読み飛ばさないようにしてくださいね。

メールの基礎必須知識ですから。

では、メールの持つ特徴とそれによって引き起こされる
メリット、デメリットをこれから詳しく解説していきます。

◆ メールの特徴 ◆

• 履歴が残る

会話の内容を細かい言葉まで全て覚えておくのは困難ですが
メールなら勝手に履歴が残るので、やり取りしたことが一字一句逃さず
記録されています。

これによって何がうれしいかっていいたら
相手の情報を忘れてても心配がないわけですね。

見直しやあいいんで。

なので、デート前などには見直して望むといいですね。
複数の女性に同時にアプローチをかけている場合は特に（笑）。

また、履歴が残るってことを活かして
個人情報はメールで聞きだすっていうのも手です。

会話するときはとにかく楽しくを意識しておいて
その後のメールでいろいろ根掘り葉掘り聞いていく。

特に、

- ・ 誕生日 => さりげなく聞いておいてサプライズメール
- ・ 相手の普段のスケジュール => 仕事のある日、何時に寝るのかなど
- ・ 價値観 => 長く付き合いたいならここが全く合わないとキツイ
- ・ 恋話 => アプローチの判断材料

の4つは僕は意識的に聞くようにしていますね。

(もちろん会話中に聞くこともありますけど)

会話中は緊張してそんなの覚えてられないよって人は
メールで聞き出せば楽ですよって話でした。

そうやって相手を分析するためのデータを蓄えていきましょうと。

で、当たり前なんですが履歴が残るということは
相手もメールを見直せるということです。

もし、メールで感動させることができたら
相手はそれを読み返す度にその時の気持ちを思い出してくれます。

僕の彼女も僕が送ったメールのいくつかを保護対象として
鍵マークをつけてくれているようです。

で、寂しくなった時にはたまに読み返してみるんだとか。

ホントうれしいかぎりですよ。

ただ、逆にメールで悪口は厳禁です。

意味はわかりますよね。

相手がそれを見返したらまた不愉快な気分がぶり返すからですよ。

おまけにそれを友達とかに見せられたら悪い噂が一気に広まります。

そうなるともう生き辛いことこの上なくなってしまいます。

場合によっては面識のない女性とかからも
「気持ち悪い」とか言われますからね（苦笑）。

くれぐれもお気をつけて。

ちなみにこれは送らないほうがいいよっていうタブーリストも
後で紹介するので不安な人は熟読しておくように。

• 送る前に見直せる

これもメールの大きな特徴の1つですね。

会話ではなかなか盛り上がりがれない人でも
メールでは盛り上がれるって場合があります。

それは事前にヘマを防げるからですね。
調子に乗って変なことをしゃべらずにも済みますから。

特に不快な表現はチェックしておくべきでしょう。
僕もメルマガやレポートを出す前には推敲と修正を必ずやっています。

文章は直せば直すほど良くなる傾向にあります。

即レスなんかそんなに気にしなくていいので
1通1通じっくり推敲と修正をしてから送りましょう。

どういう点を推敲、修正すればいいのかって？

それはこのレポート全体を通して学んでください。

また、送る前に見直せるということで
相手に与える情報をコントロールしやすいというメリットもあります。

つまり、昔僕がメルマガで話した
“ミステリアスな男”を演じやすいということですね。

なぜミステリアスな男を演じた方がよいのかは
ここで話してると長くなるので気になる人は
こちらのバックナンバーを参照してください。

「モテるための絶対ルール！」 第12号
<http://archive.mag2.com/0000263806/20080710035015000.html?start=20>

- いつでも好きな時に送れる

メールなら24時間いつでもアプローチができます。
これによって戦略に幅が広がるんですね。

朝一で元気の出るようなメールを送ったりとか、
彼女がこれから大事なプレゼンって時に緊張をほぐすメールを送ったりとか、
そういうこともできるようになります。

要所、要所での効果的なアプローチができるようになるんですね。

会ったり、電話したりはできないときでもメールなら
とりあえず送っておけば空いた時間に読んでくれますし。

もちろん相手の都合を全く無視して送りつけるのはNGですよ。

会議中とか深夜とかに送ると気の利かない奴だと思われるかもしれませんし、
「返信しなきや」というのが相手にとってプレッシャーにもなりかねないから。

またいつでも送れるがゆえに
簡単にストーカーまがいのこともできてしまします。

お気をつけて。

この辺のメールの特性もよく覚えておいてください。

- **話の主導権を握りやすい**

メールでは聞き上手のテクニックが特に有効になります。

聞き上手のテクニックというのはザックリと言えば
話題を振って、関心を示して、掘り下げるの3ステップのことですね。
(このテクニックの詳細については無料レポート「恋愛論」を参照のこと)

この3ステップが非常にスムーズに行えるんです。

あまり女性慣れしていない男がおしゃべりな女性を相手に会話すると
一方的にしゃべりまくられてどうしても話題があちこちに飛ぶんですね。

で、圧倒されてしまって自分は何もしやべれないという事態に陥ります。

結果、自分のことを知ってもらえない。
話を掘り下げられないから深い話もできにくい。

僕も昔はこれにすごく悩まされました。

いくら相手が気のある女性とは言えど、
どうでもいいことを延々としゃべられるのに
相づちを打ち続けるのは正直苦痛で仕方ないですから(笑)。

この気持ちわかつてくれる人は多いのではないでしょうか。

しかし、メールならフェアにやり取りができます。

基本的には

送る => 返ってくる => 送る => 返ってくる

の繰り返しですからね。

途中で話をさえぎられることも、話に割り込まれることもない。
まさに口ベタ男にとってメールは桃源郷です（笑）。

1通のメールに自分の主張を収めることができるので
自分がしやべっている途中に

「あっ、それなら私もねえ」

とか何とか言いながら入ってこられ

「おれが今しやべっている途中だろー」
「ちゃんと最後まで聞けー」

となる心配もありません（笑）

逆もまた然り。

会話の場合は

話を振る => 相手がしやべる
=> 振った話題と関係ないことまでどんどんしゃべる
=> なかなか聞きだしたいことが聞き出せない。実のある話ができない。

という厄介な流れに引き込まれる可能性があります。
特にまだ女性との会話に慣れていないうちは。

逆に相手の女性が比較的おとなしいタイプで全然しゃべらない
って場合も会話慣れしてないと気まずい沈黙が流れがちですが
メールならその心配はありません。

振る話題を考える時間はいくらでもありますしね。

また、会話だと何か聞かれればすぐに答えなければいけませんが
メールなら良く考えてから送れるし、じらしのテクニックだって使えます。

会話中にクイズミリオネアのみのもんたみたいにじらしまくったら
「何なの？コイツ」と思われてしまいますが、メールなら許される。

メールをすぐに返信できない状況は誰にでもあることですから。

そういう意味でもメールって主導権を握りやすいですね。

- メールとは基本的には文字情報である

当たり前のことですがメールというのは文字と文字のやり取りです。
(深い話をすれば違いますが、表面的にはそうです)

文字情報である以上は表情や声が伝わりません。

最近は絵文字やデコ文字というものが充実しているので
だいぶ感情を表現しやすくなっていますが
それでも文字は文字です。

ここから何が言えるかというと

メールではウソがバレにくいくらい

ということです。

正直、メールで相手のウソを見抜くのはかなり困難です。

すでに長い付き合いをしていて
相当相手のことを知っていないと無理だと思います。

メールは実際の表情も声もしぐさもわからないですから。
絵文字などを使うにしてもボタン一つで

与える印象を変えることができてしまうんですよ。

対面でウソをつくと緊張してどこかぎこちなくなってしまいます。
つい表情やしぐさでボロが出来てしまいます。
が、メールならその心配もいらないわけですよ。だって送る前に見直せるし。

そんなわけでウソつくならメールで。

· · ·

何かここだけ切り取って読まれると
僕がすごい腹黒くて計算高い奴に見えますが（苦笑）

世の中にはついていいウソもありますからね。

相手に害のあるウソはついちゃダメですが
相手の為になるウソや相手を喜ばせるためのウソならついていいんです。
(と僕は思っています)

この辺はメルマガのバックナンバーで詳しく解説したので
ヒマがあればそちらも合わせて読んでおいてください。

「モテるための絶対ルール！」第10号
<http://archive.mag2.com/0000263806/20080627035834000.html?start=20>

相手のためを思ってつくウソでもバレたら意味がないし、
場合によっては相手を傷つけてしまうかもしれません。

だから、そういうウソをつくときに上手くやれる自信がない人は
メールでやればいいですよって話です。

自分に都合のいいように腹黒い解釈をしないように（笑）。

- **携帯メールならほぼ確実に読まれる**

出会い系に登録している女性は除きますが、
ふつう友達や知り合いからメールが来てたらとりあえず読みますよね。

返事を返すかどうかは別として。

少なくとも読まれはするのがメールです。
だったら、内容でつい返事をしたくなるようにしておけばいいわけですよ。

これは1つの希望ですよね。

一度相手に警戒されたら対面で相手に話を聞いてもらうのは
なかなか困難なことですから。

まあ、受信拒否されたらさすがに終わりですけど（苦笑）。

- **言葉が軽いと思われる**

雑誌や mixi などのアンケートでも僕の個人的な調査でも
メールでの告白は男らしくないという意見が圧倒的に多いですね。

直接相手を前にして告白するのとは振り絞る勇気が違いますから。
それゆえに思いが伝わってこないと感じる女性も多いようです。

まあ、すでに向こうがこっちにかなり気があるなら
メールでの告白でも上手くいくかもしれないんですけど
そうでもない場合やよくわからない場合にはどうしても押しが弱くなるので
やめといった方が賢明だと思います。

告白なんて一生に何度かの出来事でしょ。

その時くらいは男を見せましょうよ。
結果は別として、勇気を振り絞った経験は必ず後の財産になりますから。

- 言いにくいことでも言いやすくなる

これは誰もが感じていることですよね。
言いにくいことはメールで済ましちゃえ的な考えを
あなたも1度は抱いたことがあると思います。

別れ話とかね（笑）。

僕は基本的にクサイ台詞はメールで送るようにしています。

口で言えばンンン臭うクサイ台詞でも
メールならそんなにクさいと思われずに済む場合が多いんですよ。

表情や声がうまく伝わらないわけですから
少し大げさに表現しても大丈夫だってことでしょう。

だから例えば

「おれ達2人のうち、どっちかが違う大学を受けていたら
おれがあの時○○を見て声をかけなかつたら
○○がおれの告白をOKしてくれなかつたら
どれか1つでも欠けていたら今のおれ達の関係はなくて
他人のままだったんだよね
運命なんか信じてなかつたけど、
ただの偶然が重なっただけなんだろうけど
その偶然に今すごく感謝しているよ」

こんな対面では照れて言えないような
クサイ台詞でもメールなら大丈夫！！

大丈夫！

たぶん（笑）

僕は実際に送りました（爆）

その時は大丈夫でした。

でも、保証はしません（笑）

自己責任でお願いします。

他にも、ケンカをして相手を傷つけてしまった・・・

早く仲直りしたいってときはまずメールで謝っておいて

改めて対面でという風にやれば随分と謝りやすくなります。

いきなり会って言うのはちょっと気が重いようなことは

まずメールで前振りをしておくと気が楽ですよ。

このようにどうしても言いにくいことがあるときは

メールを使ってみるっていうのも1つの手です。

- **簡単に無視できる**

対面の会話では相手が目の前にいるので

むげに無視したりはなかなか気が引けるものですが

メールならそれがあっさりと行われてしまいます。

食事の誘いとかね。

あんまり気乗りしない・・・

でも断りのメールを入れるのも何かめんどい・・・

そんなとき女性が取る行動は無視です。

彼女らは返事をしないことによって

「これで察してね」というメッセージを送っているんですよ。

対面ならたとえ相手にNOと言われようとも席を立たれない限りは

食い下がってYESと言ってもらう交渉ができます。

が、メールでは無視が簡単にできますから
そうなると交渉の余地がないってことです。

そういうことを考えると
誘うのはメールより対面の方が承諾率はいいですね。

- **1対1でやり取りができる**

これもメールの大きな特徴の1つですね。

いつも仲良し3人組とかで行動している女性には話しかけにくいんですよ。
特に周りの友達が苦手なタイプの時は困ります（苦笑）。

がんばって話しかけても他の2人に聞かれてしまうからあいさつ程度の
表面的な会話に終始してしまうし、深い話なんて到底無理です。

しかし、メールという便利なツールがある現代においては
一度ターゲットとなる女性のメアドさえ
手に入れてしまえばこっちのものなんですよ。

その後はじっくりと二人だけでやり取りができるようになりますから。

接触が取りにくい相手にアプローチする時には
まずメアドを交換することを目指しましょう。

早めにつがなりを作つておくことは非常に重要ですからね。

以上でメールの特徴の解説は終わりです。
こういった知識も今後メールを使う際に少しづつ活かしてみてください。

★ 女性をドン引きさせ自らを奈落の底へ突き落とすイタいメール集

上のタイトルを見てもらえばわかると思いますが

これからご紹介するメールテクニック（？）を使いこなせれば
女性から拒絶されること間違いないし！

思う存分、地獄を味わってくださいませ。

っていうのはもちろんジョーダンですが（笑）

反面教師として知っておいて欲しいんですね。

これから紹介するメールを見て

「あー、これはイタいな・・・」

と思えればあなたはセーフ！

とりあえずメールを送っただけで一瞬にして
嫌われるってことはないと思います。

が、

「げ！？ それはまさにお、お、おれのことだ・・・」

って思ってしまった場合は、早急に手を打ってください。
じやないと、奈落の底へまっしぐらですから。

あー、それから一応警告しときます
これから先はかなりバッサバッサと切っていきます。
なので心臓の弱い方は読まないようにしてください。

と、まあ若干脅しを入れてみましたが
僕のメルマガや他のレポート、教材で学習してくれている方なら

まず大丈夫だと思うので気軽に読んでみてください。

では、いきましょう。

- テンションを下げるようなメール

これは当たり前ですね。

テンションが下がるようなメールを受け取って嬉しい人なんていませんから。

基本的にメールは相手にとってもらったら嬉しいものでなければいけません。
じゃないと、あなたからのメールを心待ちになんてしませんよね。

毎回テンションの下がるネガティブなメールを送りつけていると
彼女はメールが来ただけで不愉快になります。

なので、基本的なこととして

“メールは相手にちょっとした幸せを届けるもの”

ということは覚えておいてください。

では、具体的にどんなメールがテンションを下げるメールなのか?
実際に見ていきましょう。

「はあ～、テスト落ちちゃった・・・マジ死にてえ」

「バイトの面接ダメだった↓
やっぱおれみたいのはどこも雇ってくれないよね・・・」

こういうのはよろしくないです。

送られたほうまで気分がどんよりとしてしまいますから。

普段全く弱さを見せない男がたまにポロッと
弱音を吐いたりするのは効果的かもしれません
上の2つが明らかに普段から軟弱な奴ですよね（苦笑）。

女性は男らしさにホレるわけですから
あんなネガティブなメールはNGでしょう。

逆にあれば

「はあ～、試験落ちちゃった・・・けど、おれはこれで終わるような
男じゃない！ 気持ち切り替えて次なる目標へ向けがんばるよ！」

「バイトの面接ダメだった↓
でも次の面接こそは採用してもらえるように
人生最高の営業スマイルを見せてやるよ 笑」

みたいな感じで最後がポジティブな表現で終わっていれば
むしろ好印象です。

困難にもめげずに立ち向かう姿は男らしいですからね。
「よしつ、あたしも見習おう！」
って気持ちに彼女をさせができるかもしれません。

ネガティブな表現を使っても最後はポジティブに終わる。

これは覚えておいてください。

• ナヨナヨしたメール

テンションを下げるようなメールに引き続き
ナヨナヨしたメールも女性を引かせますのでご用心を。

何度も言いますが、男らしくないのは基本的にダメです。

男は女性の女らしさに、女は男の男らしさに惹かれるものですからね。

我々男の目線に置き換えると
ゴリラみたいな男がなぜかすげーモテているのは見たことがあります、
ゴリラみたいな女がすげーモテているところは見たことないですね。

ちょっと失礼な言い方ですが、
それはあまり女性っぽさを感じないからです。

これは女性側も同じように思います。

つまり、ナヨナヨしたメールを打って女性からモテようなんてのは
まず無理だってことですよ。

だから

「ねえ、僕のことどう思ってる？？」
「○○ちゃんは人気者だしあれなんかには興味ないよね？？」

みたいなのはやめましょうね。

それから返事がすぐに返ってこないからといって

「ごめん、おれ何か言っちゃいけないと言った？？」
「ホントごめん。おれってウザいよね？？」
「もしかして今のキモかったかな？」
「おれなんかがメールしたら迷惑だよね・・・ごめん」

とかも禁止です。
奈落の底へと落ちたいなら別ですが（笑）。

ちなみに

「ごめん、おれ何か言っちゃいけないと言った？？」

っていうのはまだ若かりし頃の恋愛ベタな僕が
気になる女性からメールが1時間返ってこないからといって
実際に送ったメールそのままです（苦笑）。

それで結果はどうなったかといえば・・・

まあ、奈落に落ちますよね（苦笑）。

いやー、あれは今思い返してみてもイタイなあ。

もし僕と同じ思いを体験してみたいって人は
ぜひナヨナヨメール術をマスターしてみてください。

驚くほどの高確率で女性を引かせることに成功すると思うんで（笑）。

• 下ネタを入れたメール

下ネタ。

これもやめといた方がいいですね。

会話でならまだいいんですよ。
でも、メールだと何か本気っぽく取られてしまうんですね（苦笑）。

ジョーダンに見えないっていうか
だから、気持ち悪いっていうか（笑）

もし、飲み会の席で下ネタ話をして女性と盛り上がれたら
その晩は期待できますが

メールではやめた方がいいですね。

履歴とか残っちゃうし。

あと、あからさまに下ネタへと誘導するような
メールもやめといった方がいいです。

それくらい女性だってわかりますから。
下心見え見えだって。

そしたら見事にキモいリストに登録され着信拒否です（苦笑）。

じゃあ、どういうのが下ネタか？

具体例を挙げると・・・

さすがにこれは自粛しましょうね（笑）。

え？

気になる？（笑）

ならば、僕の彼女が昔実際に送られたメールを1つだけ。

彼女がある学科の先輩（？）から本を借りて
それを読み終わったので返しに行きますとメールしたところ
返ってきたのが・・・これだ

1

2

3

「お札はキミの体躯で払ってもらおう」

・・・・

そして、彼女はその日 1 日中気分が悪くなつたとさ (苦笑)。

彼女いわく

体躯 ← この変換がもう気持ち悪すぎると

気をつけましおう！
ってやる人はほとんどいないと思いますけど。

下ネタを使いたいなら会話の中でさらりと
これが鉄則です。

- 意味不明の返信しにくいメール

もしかしたらこれはみんな結構やりがちかもしれませんね。

てか、あなたも友達とかからあるでしょ？

返事に困るメールが送られてきて
ちょっとイラッとしたという経験が。

どういうメールが困るかつていつたら

「報告メール」

です。

例えば

「今友達と遊んでるところ♪」

「今○○にいるよ^^」

「ねむい」

さて、あなたなら何と返信しますか？

僕なら

「で？」

と一言（笑）。

基本的に人って頭を使いたくないんですよ。

だから、話を振ってこないメールはめんどくさいと感じるんです。

すると、どうするか？

はい、無視です。

報告メールを送る人というのをきっと

「自分の話を聞いて欲しい」「自分のことをもっと知って欲しい」

という目的でやっているんでしょうが

相手はそんなことに興味ないですから。

いらんもん売りつけられてるようなもんですよ。

これの極めつけが

毎日日記メールです。

日記メールとは

「今日は朝からうんぬんかんぬん・・・
昼に上司となんたらこうたら・・・
夜は残業でちんぶんかんぶん・・・」

みたいなメールのことです。

自分のその日1日の出来事をただただ書き綴ったメールを
毎日せっせと送り続けるわけですね。

本当にそんな奴いんのかよ！？

って思いました？

それが、いるんですよねー。

僕の女友達も2人ほど被害にあってますし・・・。

恋はここまで人を狂わせてしまうものなんですよ。

まあ、あなたは彼らのように狂ってしまうことはないでしょう。
このようにしっかりと恋愛というものを学んでくれているわけですから。

どんなに熱い思いを彼女に抱いていたとしても
冷静さと正しい知識があれば大丈夫なんですから。

• 催促メール

これも僕の周りに結構グチってくる女友達がいるんですが
すこぶる評判悪いですね（苦笑）。

「お前何様？」

とか思うらしいですよ（苦笑）。

女って生き物は・・・
かわいい顔して恐い恐い（笑）。

催促メールとはたとえばこんなヤツです。

容疑者A「今から電話していい？」
被害者の女性「ちょっと今からやることあるから無理かな」
容疑者A「じゃあ、それ終わったら電話して！」

・・・・

まあ、「お前何様？」ですね（苦笑）。

他にも返事の催促メールとして

「おい、ちゃんと返事返せよ！」
「返事まだ～？？」
「遅いぞー」

などがあり、これとよくセットで使われるのが
逆ギレメールです。

「メールしかと？？」
「マジ性格悪いよね」
「正直○○には失望した」

などなど、理不尽極まりない戯言を容赦なく叩きつけるのが
このテクニックのコツです。

僕の友達はレポートに忙しくて30分返事をしなかったら
上の3点攻めを受けたそうな。

言っときますが、相手は彼氏でも何でもなく
そんなに仲がいいわけでもない人ですよ。

これも言うまでもなく

「お前何様？」

という感情をみごとに彼女に抱かせることに成功しています。

さらに催促メールにはこんな応用テクニックも！

「今日おれ誕生日だから何かくれよ！お願ひだから」

「バレンタインは義理チョコで勘弁しといてやるよ！」

まあ、全くもっていらないテクニックですけどね（笑）。

あと、写メの催促とかもあんまりしない方が身のためです。

逆に自分の写メも相手が要求しない限りは送らないこと。

たまーに自分の写メを送りつけて

「おれのプレミア写メを送ってやったんだから○○も写メ送ってよ」

なんて意味不明なメールを送るスンバラシイ思考回路をお持ちの方がいるみたいですが長生きしたければマネしないように。

報告メールもそうなんですが

催促メールを送る人ってなぜか彼氏気取りなんですよね。

これ、度が過ぎるとストーカーですよ。

もはやそれは犯罪です。

改めて恋は人を狂わせてしまうんだなあと。

自分は大丈夫なんて安心しきっていると危ないかもしれませんよー。

お気をつけて。

- まだそんなに仲良くない相手からの「今何してるの？」メール

あなたが今日 1 日やったことをメールで打ってください。
別に誰にも送らなくていいんで。

できましたか？

まあ、たぶんやってないですよね (笑)。
だって、めんどくさいでしょ。

誰だってそうです。

じゃあ、もし「今日は何してた？」ってメールを女性に送ったら・・・？

そういうことです。
メールって結構打つのがめんどくさいんですよ。

さらに言えば

「今何してる？」

ってメールは相手に管理されているような気になってきて
世の淑女諸君は嫌らしいですね。

あたしの自由を侵害してくれるなと。
何をしてようがあたしの勝手じゃないか、
それをなぜあんたに言う必要がある？

と、いうことらしいです。

でも、油断してたらメールのネタを思いつかないときって
とりあえず「今何してる？」とかって送っちゃいますよね (笑)。

僕も過去に結構送ったことがあります（苦笑）。

その時はセーフでしたけど。

危ない危ない。

すでに結構仲がいいなら別にいいみたいなんですよ。

でも、そうでもない場合は控えた方が賢明ですね。

さらにこれと組み合わせることで
気持ち悪さを倍増させるテクニックが「連発」です。

相手が返事を返すまでひたすら送り続けるという高等テクニック。

「今何してる？」

「ねえ、何してんの？教えてよー」

「おーい」

「おれはねー、漫画読んでるよ」

「忙しいのかな？」

「緊急連絡、緊急連絡、至急応答すべし！」

：

：

これはさすがにイタい・・・。

友達のある女性はバイトが終わって携帯を見た瞬間に
背筋が凍ったそうです。

何と1、2分おきに80通くらいメールが来てたそうな・・・

まあ、即受信拒否ですよね。

世の中にはスゴイ奴がいるもんだなー。

あなたはそんなスゴイことできませんよね？

- 空気を読んでいないメール

女性の中にはなかなか自分からメールを終わらせられない人がいます。

そんな女性は「明日仕事だしそろそろメール終わらせて寝たいなあ」と思うときにはそこはかとなく「今日はもう寝ましょ」というメッセージを匂わせていきます。

気づいてあげましょう。

女性が

「あたし明日朝早いんだよねー」

と言っているのに平気な顔して

「そつかあ、大変だね。てか、〇〇は普段どんな音楽聴くの？」

とか聞かない（苦笑）。

これは極端な例ですが、このように
女性がもう終わりたいと思っているのにそれに気づかず
ずっと質問メールを送るとウザいです。

“相手の立場で考える”

空気の読めないイタい奴にならないためにも
これは常に意識しておきましょうね。

- 距離感を無視したメール

これも恋愛ベタの人多いパターンですね。

正しい恋愛の知識がないからこういうことになるんですが

まだそんなに仲良くなっているのに

「キミのためなら俺、全てを投げ打ってでも・・・(以下自粛)
みたいな重いメールをするのはやめましょうね。

あきらかに踏み込みすぎですから。

あと、いきなり2人で

「温泉」「遊園地」「旅行」「ホテル」
に誘うのもどうかと。

女性からしたらちょっと恐いですよね。

ホテルって・・・

ねえ？ (笑)

あー、ホテルで友達から聞いたおぞましいメールを思い出しました。

これです。

「今日、ずっとおれのこと見てたよね?
もしかしておれとやりたくて妄想してたんじゃない? 笑」

これ、警察に通報してもいいんじゃないでしょうかね (苦笑)。

まあ、とにかく恋愛は距離感が大切です。

メアドがわかると24時間いつでもメールを送れるわけですから
簡単に相手とベッタリできてしまいます。

が、急にそういうことやると警戒されますからね。

メアドを交換したとたんに毎日ガンガンメールの嵐・・・
恐いです。

恋愛の基本はスマールステップですからね。

お忘れなく。

• 負のギャップを引き起こすメール

時々メールのときと普段では全く人格が違う人がいます。
そういう人はもう言葉使いからして違うんですね。

これが実は悲劇を生んでいる可能性があるんですが・・・

以下はある女性の体験談です。

送られてくるメールは常に
絵文字、顔文字、デコ文字のオンパレード！
開いた瞬間に目がチカチカするほど。

が、いざ会って話してみると
意外におとなしいではないか。
おかしいぞ、会話が弾まない。

シーンとした空気はいつまでも解消されないまま
その場は別れることになった。

が、すぐにメールが送ってきた。

「今日は会えてよかったです。(^-^)
てか、〇〇ちゃんかわいいからすげー緊張しちゃったよ～(((>< ;)))
次はもっとがんばりまっす(≧▽≦)ゞ
でも今日はいい夢が見れそうです(@^艸^@)」

これを見た彼女の感想はというと

「え！？ ホントにさっきと同じ人？」
「ちょっとキモいかも・・・」

だそうな。

これが負のギャップを引き起こすメールの典型的なパターンですね。

メールしている人と実際に会った人の印象がちぐはぐなので
そこに負のギャップが生まれてしまうわけですよ。

こんなにテンションの高いメールを送っても許されるのは
普段からすげーテンションの高い奴だけです。

それならメールと実物が一致するので負のギャップは生まれないでしょう。

ですが、そうじゃない人は普段から絵文字などは
ちょっと控えめにしときましょう。

あんまり絵文字ばっかのメールを送ると女性の中には
「この人遊び慣れてるんだろうな」
というような印象を受ける人もいるようですしね。

まあだからって、全く絵文字を使わないと
今度は冷たい印象を与えてしまいますが（笑）
難しいところですね。

その辺のバランスがわからない人は
基本として相手の女性よりは少なめにしとくといいです。

もしくは1文に絵文字は1個とか多くても2個くらいにしておけば
僕の経験上そんなに外すことはないと思いますよ。

目安にしてみてください。

また、負のギャップを引き起こす要因を
逆にするのは効果的だったりします。

どういうことかというと

普段のメールではそっけないんだけど
実際に会ってみたらすっげ一面白い奴だった！

っていうのはいい意味でギャップを使うことができます。

もちろんリスクは伴いますが
それに見合うだけのリターンは得ることができるでしょう。

まあ、でも最初は負のギャップにだけ気をつけておいてください。
これはホント恐いんで。

以上

暗黒のメールテクニックをご紹介してきましたが
いかがだったでしょうか？

まさに違う意味でのメールウェポンですね（笑）。

ダイエットでは痩せる方法の前に太る方法を学べと言われます。

それは自分の行動のどれが太る原因なのかをちゃんと知っておくことにより
自然とその行為をさけるようになるからですね。

僕の目的もまさにそれなんです。

これまで辛辣な言葉を連ねてきましたが
そういった意図があつてのことですので
お気を悪くされた方がもしいらつしゃったら申し訳ありませんでした。

しかし、これで確実にあなたのメールには力が
宿り始めたということだけは保証します。

で、ここで1つ注意点を

メールというのは送る人によって結果が全く違つたものになります。

ぶっちゃけた話、好きな人からのメールならどんな内容でも許されるし
逆に嫌いな奴ならどんなメールもウザがられる。

これが正直なところです。

好きな人からなら「報告メール」だろうが「催促メール」だろうが
ウェルカムなんです。

「今何してる?」ってメールだって
「あたしのことを気にかけてくれてるんだあ」
って気持ちになるわけですよ

束縛されたい女性なんかは特にそういうメールが来るとうれしいんだとか。

ここでも大事なのは距離感ですね。
そして、相手の特性を見抜く目が必要です。

だからこそ恋愛を学ぶ。

自分と彼女の幸せのためにね。

◆コラム～「？」さえつけときや返事が来るのか？～◆

これは本書をここまで読んできたあなたならもうお分かりですね。

「？」をつければ返事が来るのかっていいたら
そうでもないわけです。

もちろん返事が返ってくる確率は高くなりますが。

逆効果になることもしばしばあるわけですよ。
その辺ももうお分かりですよね。

「？」が有効かどうかっていうのは
内容と仲の良さで決まります。

つまり

内容がつい返事をしたくなるようなものなら OK
仲が良ければある程度内容がなくても OK

みたいな感じです。

まあ、どっちも満たすのが理想ですけどね。

反対に、仲も良くないのに内容もよろしくない「？」満載のメールを送ると
相手は警察の尋問のように感じてしまうわけですね。

「何この人？　あたしの身辺調査でもしたいの？」

みたいなね。

たとえば

男「今何してんの？」
女性「友達と遊んでるけど」
男「まさか男じゃないだろうな？」

みたいメールのやりとりはふつうはウザい分類に入ります。

「誰といようがあんたには関係ないでしょ！？」
「何勝手に彼氏気取りしてんの？」

という具合で（苦笑）。

が、女性がこの男のことを好きなら問題なかったりするんですよ。

「ヤキモチ妬いてんだあ♪かわいいー」

とか勝手に思ってくれるんで（笑）。

まあ、そうじゃない場合の方が世の中圧倒的に多いわけですけど。

だから、距離感を意識する。
やたらと「？」を入れたメールを送らない。

「ご飯食べた？」
「何食べた？」
「今日何してた？」
「今何してる？」
：
：

あんたには関係ないだろ！と
ほぼ間違いなく女性は思います。

メールを続けたいからって「？」さえつけときや
いいってもんじやないですからね。

「？」の使い方を本書を参考にこれからは少し意識してみてください。

第3章 テクニックを学べ

さて、お待ちかねのテクニックを解説する時間です。

テクニックもたくさん知っておくに越したことはないですからね。

メルマガでも書きましたが
テクニックとはスパイス（調味料）です。

おいしい料理をつくるためにはスパイスは
できるだけ多く取り揃えておくに越したことはありません。

ただ、一級品の料理を作るには適切な種類のスパイスを適切な分量で使う
シェフの腕が必要になりますから
そこだけは勘違いしないようにしてくださいね。

やたらめったにスパイスを振りかけたら料理の味が台無しですから。

ではいきましょう。

★ 基本テクニック

まずは基本テクニックを4つ解説します。
どれも重要なものばかりなのでしっかりとマスターしていってくださいね。

• 名前を入れる

呼び方っていうのは早めに決めといた方がいいです。

仲良くなれるスピードが全然変わってきますから。

「何て呼べばいい？」

って一言メールするなりすればいいですよね。

その時オススメなのは下の名前で呼ぶことです。

その方が恋愛関係に発展させやすいので。

ただ、勝手に下の名前で呼び捨てとかすると嫌がる女性もいるので
そこはちゃんと上のような感じで聞いてからにしましょう。

で、メールで名前を呼びかけるメリットがもう1つあって
それは一斉送信じゃないとわかる点です。

一斉送信っていうのは基本的に印象悪いです。

せっかくメールに1対1という利点があるのに
それをわざわざ潰す意味はないでしょう。

めんどくさくても1人1人ちゃんと送ったほうがいいですね。

特に遊びの誘いとかを一斉送信してる人を
たまに見かけますが、やめといった方がいいですよ。

それで返事返って来なかつた人とは疎遠になりがちですから。

• **返信するタイミングの見極め方**

メールをいつ返すか。

これも重要な点ですね。

とりあえず即レスすりやあいいのかって言ったら案外そうでもないんですよ。
(※ 即レスとは・・・メールをすぐに返すこと)

そうするとメール1通1通のもう喜びが減るんで。

おまけに人によってはうっとおしく感じるんですよ。

何かをしながらついでにメールをする人って結構いますからね。

すると、送っても毎回即行で返ってくると
メールに時間を割かれて別の作業ができないんですよ。

なので、即レスはたまにとかで僕はいいと思いますけどね。

じゃあ、どんなタイミングで返事をすればいいのか？

そりや相手によって違うとしか言いようがありませんが（笑）。

それを見分けるのは簡単です。

相手と同じ、もしくはそれよりもちょっと遅いくらいの時間を空けて
返事を返せばいいんですよ。

相手が毎回2、3分後にメールを返してくれる女性なら
こっちも2～4分後にメールを返せばいいし

20分くらい経ってから返すような女性なら
こっちも20～25分くらい経ってから返せばいいんです。

これにより相手と適切な距離感が保てますから。

相手が2、3分で返してくれる女性なのに20分、30分と
返事を返さなかつたらライライされますし

逆に向こうが返事するまでに20分かかる女性なのに
ガンガン即レスしてたらウザいと思われるんですよ。

だから、相手に合わせるのがベストです。

メールの分量についても同じですね。

基本は短文の相手には短文で返す。

長文の相手には長文で返す。

普段から短文のメールをしている相手に
毎回長文で返してたら相手には重荷ですから。

反対に、長文の相手に対して一言メールとかで返してたら
冷たい奴だと思われてしまします。

今何気に使いましたが「一言メール」って意味わかりますよね（笑）。
(そういう言葉が実際に辞書に載っているわけではありませんが)

「うん」とか
「そつかあ」とか
「あー」とか

のメールです。

自分がもらった時のことのあの切なさを思い出せばわかりますよね（笑）。

なので、基本的にメールの長さも返すタイミングも
相手に合わせる。

で、時々即レスしてみたり、長いメール、短いメールを使って
変化をつけていくというのが正攻法かなと思いますね。

• 件名の効果的な使い方

件名は案外使っていない人が多いみたいですが
使ったほうがいいですよ。

一番上に来るから否応なしに注目されますから。

特にこちらから送る最初のメールには件名を入れるように
心がけておいた方がいいと思いますよ。
(自分から送る場合も相手からのメールに返信する場合も)

件名がないと何か寂しいですからね。

何も思いつかなければとりあえず

「あいさつ」 + 「名前」

でいいと思います。

「よっ、〇〇♪」
「〇〇お疲れ～」

みたいな感じで。

僕は最初のメールには必ずと言っていいほど
件名を入れるようにしていますから。

また、件名をうまく使えればメールに幅が生まれます。

興味を引けるような件名を書ければ一番いいですね。

たとえば

件名：「おれ見ちやったんだ・・・」

本文：「この前話してた映画、一足先に見てきちゃった＾＾
めっちゃよかったです！〇〇も早く見たほうがいいよー」

とかですね。

あなたは普段すごくポジティブな人で通っているなら

件名：「おれもうあきらめるよ・・・」

本文：「あきらめる。おれはもう楽をしようとする事はあきらめる！
乐しよう、乐しようとする気持ちが人の成長を大きく妨げる
ってわかったんだ。いろいろやってみて効率のいい方法を
見つけるっていうだったら別だけどね。でもそのためには
まずがんばんなきやな。だからおれは乐をするのはもうあきらめた！
辛いのも苦しいのも上等だ！やってやろうじやんか。
勝手に決意表明でした 笑」

これなんかは結構グッとくるものがあるのでないでしょうか。

あの前向きな〇〇くんが「あきらめる・・・」って
何か辛いことでもあったのかな？

と思わせといての、さらに前向きな決意表明ですからね（笑）。

まあ、僕が実際に昔彼女に送ったメールなんですが
結構反応はよかつたのでお試しあれ。

• 「自己開示」 + 「質問」の方程式

上のコラムで「？」の使い方について少し触れましたが
ここで「？」を使う時の基本テクニックをご紹介しておきます。

「質問」をする前にはまず「自己開示」をしましょう。

人に名を聞くならまずは自分が名乗れ！
みたいなもんです（笑）。

たとえば

「普段どんな音楽聴いてる？」

というメール。

このままではきっと届くのは相手の心ではなく頭でしょう。
感情を動かす要素がどこにもありませんから。

実際に僕が送ってみたところ

「結構何でも聴いてますよー」

って返事が返ってきました。

これじゃこの先あんまり話が盛り上がりそうな
雰囲気ではないですよね（苦笑）。

が、こうすればどうでしょう。

「最近 XJapan にハマッててねー♪
何かエネルギーになってるよ↑
○○は普段どんな音楽聴いてる？」

これなら女性としてもだいぶ返しやすいと思います。
前半の2行が自己開示の部分ですね。

これも実際に僕が送ってみたところ

「XJapan はカッコいいよねー＾＾
何で急にハマり出したん？
あたしは最近ずっと車の中で安室ちゃん聴いてるよ♪」

という感じでメールが返ってきました。
これならこの後も話が盛り上がりそうですよね。

さらにこれにちょっと茶目っ気を入れたら
こんな感じです。

「最近 XJapan にハマッててねー♪
何かエネルギーになってるよ↑

○○は普段どんな音楽聴いてる？

あっ、よし、当ててやろうか＾＾
○○はお嬢様っぽいからバッハとかだろ？（笑）」

もちろんこれが一番反応が良かったんですが
ここまでやる必要はないですよ。

ちょっと上級者用って感じです。

でも

「自己開示」 + 「質問」

という方程式はしっかりと身につけてくださいね。

それだけでもメールのやり取りの質がだいぶ変わってくると思うので。

以上

メールの基本テクニック 4つでした。

◆コラム～ファーストメールについて～◆

飲み会（合コン）などでメールアドレスを交換した女性に
送るファーストメールの内容って結構悩みませんか？

よくありがちなのが

「今日は楽しかったよ！ホントはもうちょい話したかったけどね
よかつたら今度は2人で飲みに行かない？」

って行って撃沈するパターンです。

なぜ撃沈するかはもうお分かりですよね。
踏み込みすぎだからです。

全く距離感をつかめいませんよね。

まあ、飲み会の時点で相手がこっちに好意を抱いてくれていれば
また違ってくるのかもしれません、多くは撃沈するわけです。

ファーストメールでは誘わない方がいいですよ。

誘うんだったら飲み会の最中にサラッと
「へえー、それなら今度ボウリングで対決しようや！」
みたいな感じで伏線を打っておく。

そしたら後が楽ですから。

その場合もファーストメールでは特にそのことには触れない。
どうしてもがつづいてる感じがしてしまいますからね。

ファーストメールでは

「飲み会の感想」+「ちょっとした気づかい」

くらいがちょうどいいと思います。

たとえば

「今日は盛り上がったなあ＾＾
○○とも楽しく話せて、仲良くなれたしよかったよ
酔っ払ってんだから帰りは気をつけてね」

みたいな感じでしょうか。

そうやってまずは相手の警戒心を解いておいて
あとでデートなりに誘えればいいと思います。

いきなり飛ばすと大体失敗しますからね。

参考までに。

★ 上級テクニック

ここからはあなたに一步上をいく男になってもらうために
僕が実際に使っているメールの上級テクニックを5つほどご紹介します。

はっきり言って上級テクニックは効果抜群です。

が、それゆえに使い方を誤ればその分イタイ目に合うことになるので
少しずつ試して自分のものにしていってくださいね。

上質なスパイスほど料理人の腕が試されるということです。

• 相談メール

これはすでにご存知の方もいらっしゃるかもしれません
が、まずご紹介したいのは

相談メール

です。

相談

これは相手にうまく取り入るためにはとても有効な方法であります。
ちょっと困ったフリをして助けを求めてやれば大体の奴は一発で・・・

おっと

いかんいかん

少しばかりブラック甲本が・・・(笑)

気をつけねば。

えー、なぜ相談が有効かというと
相手の自尊心に訴えることができるからですね。

あなたたって単純に誰かから相談されたら

「おれって意外と頼りにされてんだなあ」

ってちょっと自分が誇らしくなりますよね。

その気持ちを相手にも味わってもらうわけです。

最初は軽い相談から始めて
徐々に深い話へとシフトしていく、というのが基本ですね。

いきなり重い話をされても困りますから。

出会ってすぐに

「実は私、多重債務ですごく困ってるんです・・・」

なんて相談されても嫌でしょ？（苦笑）

まずは軽いところからいきましょう。

その際には相手の情報を事前に
できるだけ引っ張り出しておく必要があります。

相手の得意分野で相談しないと意味ないですから。

相手が興味のないことやわけわかんないこと、難しいことを聞いても
相手の自尊心は満たされませんからね。

事前にしっかり情報を集めておきましょう。
メールならそれが簡単ですから。

で、軽い相談ですが

たとえばこんな感じです。

「最近DVD見まくっててね♪
○○は映画好きだったじゃんか＾＾
何か感動できるヤツ教えてよ」

感動できるヤツっていうのが1つポイントだったりしますね。
女の子は男よりも感情が豊かな分、感動物が好きですから。

で、実際にそれを借りて見た後は
感想とお礼を込めたメールをすることができるので
次にもつながりますよね。

深い相談ならたとえば
親友とケンカしたとか、部活をやってるならスランプに陥ったとか

あと、

「友達がこんなことに悩んでて何とかしてあげたいんだけど、
おれ一人じゃなかなか解決できなくて」

っていうのも結構いいですね。

これなら友達思いの奴だと思われる上に
弱い奴だと思われる心配もないですからね。

そして、深い話というのは実際に会う口実にもなるんですよ。
その辺もうまいこと誘導してみてください。

で、相談メールでよくやってしまう失敗が
相手に依存してしまって不甲斐無い男の烙印を押されることですね。

何ひとつ自分では決められない奴だと思われたら
正直ウザがられて終わりですから。

その辺のバランス感覚は第2章のイタイメールの部分なんかも
参考にしながら調節してくださいね。

それから相談メールの手順ですが

軽い相談から深い相談へってのはもういいですね。

次、相談した後は少し大げさになつてもいいのでお礼を言いましょう。
そうやって相手の自尊心をチクチクとつつくわけですね（笑）。

さらにここがポイントなんですが、お礼の後にこう一言付け加えてください。

「ありがとう。おかげで助かったよ」

この後

「また何かあったときは相談してもいい？」

この一言で相手とのつながりをさらに強くすることができるので忘れないように。

これを言ってまず NO と言われることはないのでご安心を。
もし NO と言われたならそれはよっぽどです。

相談の仕方を見直してみてください。
(てか、その前に自分を見つめ直した方がいいですね)

相談メールについてはこんな感じです。

これをうまく使いこなせるようになればあなたは
彼女の内で確実にお気に入りの地位につくことができますよ。へへ。

おっと、最後にまたしてもブラック甲本が・・・(笑)

• 1通読みきりメール

この1通読みきりメールというのは

「相手からの返事を期待しないメール」

のことです。

だから基本的に「？」は禁止です。

「そんなの何の役に立つんだ？」

と思われるかもしれませんが結構応用範囲は広いですよ。

僕も多用しているテクニックの1つです。

どんな内容を送るかといえば
まあ、別に何でもいいんですが僕は

- ✓ ちょっとした小話
- ✓ 励ましの言葉
- ✓ 写メ
- ✓ 茶目っ気のあるメール

といった感じのものをよく使っています。

ちょっとした小話っていうのは
たとえば

件名：おれ達は星のかけら☆

本文：
「友達からちょっとロマンチックな話を聞いたから紹介するよ＾＾

○○が死んだら土に還るよね。で、土は地球の一部。
地球もやがては寿命が来て、すべてバラバラになってしまう。

そして、そのスターダストから新しい星が生まれるんだ！！

つまり、おれも○○も星のかけらなのさ☆

もしかして今まで星を見ながら自分もあーいうふうに輝きたい！
とか思ったことがある？

大丈夫！なれるから（笑）

なら、また面白い話があったら紹介するよ
またね＾＾」

こんな感じです。

本読んだりテレビ見てたり友達から聞いた話で
これは面白いと思ったらこんな風にメールにして届けてあげましょう。

結構喜ばれますよ。

次

励ましの言葉ってのは
大体わかると思うのでサラッといきますが

相手が試験前とか面接前、大事なプレゼンの前とかに

「〇〇ならいつも通りやればきっと大丈夫だから
これまでの努力はおれが知ってるし＾＾
がんばれよ！応援してるから☆」

みたいな感じで送るわけです。

こういう場面では1通読みきりがいいですよね。
長々とメールしようとしたら相手が集中するのに邪魔になってしまいますから。

次

写メって使ってますか？

男はあんまり使わないようですが
女性は何でも写める人がいっぱいいます。

そして、それを友達に送ったり見せたりして
会話のネタにしているわけですね。

だから、我々男も気になるものがあったら
とりあえず写メっときましょう。

あると何かと役に立つので。

メールに添付すればそれだけで話題になりますしね。

僕が最近送ったメールで言えば

件名：おはよ♪

パンジーの写メを添付

本文：

「うちの母ちゃんが育てるパンジー（絵文字）

これ見たら朝から何かホッとしたから
○○にも送ってみた（絵文字）」

こんな簡単なメールでも結構反応はよかったです。

画像があると情景や雰囲気を伝えやすい
っていうのがうれしいところです。

写メってのはそれくらい強力なので
ぜひ使ってみてください。

ただ、何でもかんでも写メをつけてたらウザいし
感動もどんどん薄れていきますので
たまに使うくらいでいいですよ。

それさえ気をつければ
応用範囲も広いのですごく有効なテクニックの1つだと思います。

最後

茶目っ気のあるメールですね。

たとえば

件名：衝撃的な朝！

本文：

「おはよう、○○

昨日は飲み過ぎてね（苦笑）

寝起きでぼーっとしたまま顔を洗おうとしたら

なんと・・・！？

一瞬、歯磨き粉で洗顔しちゃったよ（笑）

どうりでミントの香りが・・・

衝撃的な朝でした（笑）

」

とかですね。

日常のちょっとしたハプニングを

茶目っ気を演出しつつ読みきりのメールにして送るわけです。

「気づいたら左右で違う靴下をはいていて恥ずかしかった」とか

「トイレに入ったら紙がなくて死ぬほど焦った」とか

そういうハプニングって誰にでもありますよね。

それをメールにするだけでも

かなりおもしろいものになると思うので
これからは日常の出来事にちょっと意識を向けてみてください。

思わぬネタが転がっているもんですから。

以上。

少し例えが長くなりましたが

これはホントに応用範囲は広いと思います。

相手が受験前、もしくは仕事が忙しい時なんかは
メールが負担になる時期なので1通読みきりメールにしておくといいですね。

また、いろいろ工夫のした1通読みきりのメールを送れるようになると
女性にあなたからメールが来るのを楽しみにしてもらえるようになります。

あとはあなたの創造性しだいですから。

ぜひ、いろんな読みきりメールを生み出して
恋愛を楽しんでくださいね。

そして、面白いメールは僕にも教えてください^ ^

• 以心伝心メール

次は以心伝心メールについて解説します。

これは簡単に言うと

相手がよく見るドラマやお笑い番組なんかを
自分も見てCM中や終わった後に感想を言い合う

ってテクニックです。

なぜこれが有効かというと
一緒に何かをする事は相手との心の距離を縮める
一番手っ取り早い方法だからですよ。

一緒に仕事なんかをする人とはすぐに仲良くなりますよね。
それをメールでやってしまおうってのがこの方法です。

感想を言い合うことで同じ気持ちを共有することができるんです。

ドラマを見終わって感動した直後、
そこで誰かとその気持ちを分かち合うことで
感動の余韻に十分浸ることができます。

お笑いを見て思いっきり笑った直後、

「〇〇（芸人）のあのネタはホント最高ー！！
今思い出しても笑えてくる（笑）」

みたいなやり取りをすることで
普段よりも楽しさが増すわけです。

そして、いつしか毎週決まった時間（ドラマやお笑いがある時間）になると
自然にメールのやり取りが発生するようになってくるわけですね。

まさに以心伝心。

二人にとって毎週のその時間が
楽しみで仕方がない、待ち遠しくて仕方がない
そんなひとときになります。

そしたらもう、つながりが一気に強くなること間違いないですね。

気になるあの子と以心伝心したい場合はお試しあれ。

あー、わかっているとは思いますが一応言っておくと
否定的な言葉は絶対に吐かないように！

当たり前ですよね。

彼女が涙を流すほどの感動に浸っている時に
「おれは別に泣くほどではなかったけど」
なんてわざわざ水をさすようなことはやっちゃダメですよ。

彼女が好きな芸人に対して
「あの芸人は好きじゃない」
とかね。

まあ、そんなことやるおバカさんはいないと思いますが
一応釘を刺しておきます。

- 一気に揺さぶりをかけるテクニック

これは応用範囲はそんなに広くないですが
効果抜群のテクニックです。

僕も愛用しています。

ざっくり概要を説明すると
明らかに相手が悪い場面（向こうから謝罪メールを送ってきてている）では
わざとブチギレて見せるって方法です。

もちろんジョーダンでね。

これ使い慣れるとやみつきになりますよ（笑）。

例を紹介しましょう。

僕が最近やったのは

ある女性と夜メールをしていて、12時くらいになったので
「そろそろ寝いんじゃない？」と送ったら
彼女から「昼寝したからまだ眠くなーい」と返事がきました。
まあ、まだメールしてみたいということでしょう。

しかし、案の定、途中で相手が寝ちゃって
返事が返ってこなくなっちゃいました。

で、次の日の朝になって

「ごめんなさい、いつの間にか寝ちゃいました・・・(笑)」

みたいなメールがきました。

ここで恋愛ベタな男というのはどうするかっていうと

「いや、全然気にしてないよ^_^」

みたいに当たり障りのないメールをします。
変に注意とかして嫌われるのが恐いから。

が、僕が送ったメールはこんな感じです。

件名：ふざけんなよ

本文：

「寝ちゃいましたじゃねーだろ！
こっちはメール返ってくんのずっと待ってたってのに・・・
絶対許さん。

もう二度と会わないし、メールもしねーから。
それじや。

ウソだよ～ん ^ ^
ビビッた？ (笑) 」

こういうキレたふりをして実はジョーダンでした
みたいなメールを送ってドキッさせるんですね。

ドキドキが強ければ強いほど
彼の中では他の男とは違う男として
認識されていきます。

すると、そのドキドキ感がいつしか
恋心へと変わっていきますから。

その後、彼女からは2人で遊園地に行きましょうって誘われましたんで
効果の程は保証しますよ。

おまけに

「お前のそういう所が嫌いだから直せ！」

ってことを角を立てずに伝えることもできますので
機会があれば勇気を出してやってみてください。

- 女性の頭からあなたが離れなくなるテクニック

これでいよいよ上級テクニックの解説も最後ですが
コイツは応用範囲もそこそこ広い上にかなり強力です。

ぜひともマスターして欲しいですね。

女性の頭からあなたが離れなくなるテクニック
ということですが

一言で言えば

そっけないメールをする

ってことです。

たとえばちょっといい感じになってきたところで

- ✓ 相手のメールよりも短く返す
- ✓ ふだんより絵文字の数を減らす
- ✓ 相手よりも少し遅く返信

の3つをあえて実行するんですね。

これにより相手に何が起きるかっていうと
「嫌われたかな？」
「何か悪いこと言っちゃったかな？」
とあなたのことが気になりだすんですね。

ことある毎にチラチラとあなたの影が頭に浮かんでくるんです。

女性からそっけないメールをもらったことがあるなら
経験あるでしょ？（笑）

そうやってちょっと不安な気持ちにさせといて

実際にあった時にはすげ一笑顔で接してよく笑うように心がける。

普段の2割り増しくらいで明るくするといいですね。

人は不安な気持ちを解消してくれる人に好意を抱く

というのは心理学をちょっとかじったことのある人ならご存知でしょう。

これはホントに相手の態度がガラッと変わって
追いかけモードになることもあるくらいに強力なんで
リスクを恐れずにやってみる価値はありますよ。

ポイントとしては

いい感じになったところであえてそっけなくするってところですね。

そんなに仲良くなってもいらないのに
そっけなくしちゃったら嫌われるだけですから。

その辺の見極めが少し難しいところですが
やれる根性のある人はぜひ一度。

◆コラム～どのくらいの連絡頻度がいいのか？～◆

連絡頻度については結構悩まれている方も多いのではないでしょうか？

「マメさを演出するために毎日メールした方がいいんですか？」

「週に1回のメールならウザいとは思われないですよね？」

などの相談は僕もよく受けますし。

これはハッキリ言って

「相手によるよ」

としか言いようがないんですが

その見極め方を少しお話しようかと思います。

まず女性と恋愛話などになったときに

「前の彼女にはおれがあんまりメールとかしなかったから振られた 苦笑」と言ってみてください。

ここはもうウソでもいいです。

うん

最終的に彼女を幸せにするためなんだから仕方ない仕方ない（笑）。

で、それに対する相手の反応を見るんですね。

あんまりメールを頻繁にしない女性なら

「えー！？ そんなことで振られたの一？」

といった反応をします。

逆にメールして欲しい女性なら

「それはあんたが悪いよ」

というような反応をしますよね。

それを見るだけでも
大体の見当はつくんですが

そこからもう 1 つ探りを入れましょう。

「でも、一応おはようメールとおやすみメールは
毎日おれから送ってたんだけどね」

って言ってみるんです。

すると、さらに細かい連絡頻度が調べられます。

もっと頻繁にして欲しい女性なら
「それじゃ足りないよね」
というような発言をするだろうし

それで十分だと思う女性なら
「えー、結構マメにしてたのにね」
とかなんとか言うと思いますから。

こうやってどのくらいの連絡頻度がいいか
調べてみるっていうのが一番です。

まあ、恋愛話をしているとその辺は大体見えてきますけどね。

連絡頻度に関してはそんな感じです。

参考までに。

第4章 戰略的メール術

戦略の重要性については僕のことをすでにお知りの方なら重々承知のことだと思いますが、一応もう一回話しておきます。

モテないとなげいている男の多くは

「恋愛を戦略的に見る」

という視点を持っていません。

だから、いきなり押しまくって撃沈したりするわけですね。

ものには順序があるわけですよ。

それを知っておかないとどんなに強力なテクニックを知っていたとしても空回りして終わりです。

で、僕が戦略と言えばもう1つしかなくて

QUEST（クエスト）

ですね。

まずはその概要を説明しましょう。

★ 最強の恋愛戦略 QUEST の概要

これはそもそも欧米圏で生まれた
コーピーライティングスキルの1つなんですが
今現在も億万長者を量産している驚くべき代物です。

何がすごいって人間心理の流れを見事にとらえているんですね。

人の心ってヤツは変わるものなんだから
それを考慮して戦略を組みテクニックを使わなければいけません。

どんなに強力なテクニックも相手の心理に全く反する使い方をすれば
逆効果になってしまうのは目に見えていることですから。

じゃ、具体的な説明に入っていきましょう。

QUEST というのは 5 つのステップから成り立ちます。

Qualify (資格を得る)

Understand (理解する・理解される)

Educate (教育する)

Stimulate (興奮させる)

Transition (移行する)

これら 5 つの頭文字をとって QUEST ですね。

まずは Q です。

アプローチする資格を得ることに力を注ぎましょう。

ふつうに話をできる友達になるってことです。

ここをすっ飛ばしてガンガン行こうとするからいきなり失敗するんですね。

で、資格を得たら次は U。相手を分析しましょう。

どういう人間なのか情報を収集するわけです。

と、同時に自分のことも少しづつ知ってもらいましょう。

あなたのしわ寄せを知ってもらうことで恋心も芽生えやすいですから。

ここまで来たら集めた情報を元に E の教育に入っていきましょう。

教育というとちょっと言葉は悪いですが、

要は女性にあなたの男としての価値を教え込んでいくということです。

そうすることで彼女にとっての特別な存在になりますから。

そして、いよいよ S ですね。

彼女をあらゆる手段を用いて興奮させていきます。

夜も眠れないほどにね。

そうやって頭の中があなたのことでいっぱいになったところで

Tです。恋人になるなり一晩を共にするなり
あなたの目的へと移行していくと。

この5つの流れさえ押さえてもらえば
あなたの恋愛力が飛躍的に向上することは間違ひありません。

憧れでしかなかったあの子もあなたのものですよ。

しっかりとマスターしてくださいね。

★ メールにおける QUEST 戦略

さて、QUEST という戦略がわかったところで
今まで学んできたメールテクニックをこれに当てはめていきましょう。

あなたは何かしらの事情（紹介、合コン、直接聞いた・・・など）で
女性のメールアドレスを手に入れました。

まずは Q ですね。

ファーストメールの基本は

「感想」 + 「気づかい」

でした。

ここでの目的は女性に警戒心を解いてもらうことですから
誘ったりしてはいけないんでした。

ただ、1通読みきりメールなんかは有効ですね。

それで女性に喜んでもらうことができれば
一気にスタートダッシュを切ることができますから。

そうやって怪しい奴じゃないよーってことをわかつてもらったところで
次なる U の段階に移っていきましょう。

情報を収集してください。

その子がどういう女の子なのか知ると同時に

メールの長さや絵文字の量、好まれる頻度なんかを把握していきます。

その際には軽い自己開示をしつつってのがポイントですね。

重い自己開示はダメですよ。

基本テクニックの

「自己開示」 + 「質問」

を駆使していきましょう。

で、大体お互いのことがわかる仲になったら

E の教育という段階です。

自分の魅力を、価値を、教え込んでいくんですね。

教え込むというかわかつてもらうという感じですが。

間違っても横柄な態度は取らないようにしてくださいね。

使うテクニックは

相談メールや以心伝心メールです。

さらに 1 通読みきりメールもちょいちょい織り込んでいけば最高ですね。

そしたら間違いなく彼女にとってあなたは特別な存在になっていきますから
他の男とは一味違うオンリーワンの存在です。

ここへきて S ですね。

あえて一気に揺さぶりをかけるテクニックや

女性の頭からあなたが離れなくなるテクニックを

使っていくんですね。

まあ、そういうリスクを取るのが嫌だって人は

こんなメールでもいいです。

件名：何かなあ・・・

本文：

「今日、前に 2 人で行ったお好み焼き屋に友達と 4 人で行ってきたよ。

お好み焼きは相変わらず美味しかったし結構盛り上がりもしましたんだけど
友達と行ったら何か物足りなく感じちやった・・・

何いってんだろうな、おれ (笑)

それじゃ、おやすみ☆

」

これも E の段階がきちんとできていれば
効果抜群ですよ。

いきなりやつたら気持ち悪い奴だと思われるかもしれません。

戦略って重要だとわかってもらえたかね。

まあ、とにかくドキドキさせることが大切です。
そのドキドキが恋心を生むんですから。

で、彼女の頭があなたでいっぱいになつたらもうこっちのもんですね。

デートの誘いをすれば断られることはないでしょう。
その時に告白すれば付き合うことも難しいことではないと思います。

きっと QUEST をマスターしたあなたの

「ちょっと話したいんだ。今日会えるかな？」

という 1 通のメールが彼女の心を射抜くメールウェポンになることでしょう。

そして、幸せな恋愛を満喫してくださいね。

あなたからのうれしい結果報告が聞ける日を楽しみにしています。

以上でメールウェポンの解説は終わりです。

ここまでお疲れ様でした！

まとめ

本書の重要箇所だけを抜き出した総まとめを用意しました。

復習などのお役立てください。

第1章 メールの大前提

★ なぜメールを送るのか？

- ・ メールを送る目的はたった1つ

“思いを伝えるため”

※ 頭と頭は交信できるし心と心も交信できるが頭と心は交信できない

★ メールは手段の一つ

- ・ 正しくはメール“も”使う

※ メールだけじゃなくて使える手段は全て使う

第2章 まずはメールについて知れ

★ メールとは何ぞや？

- ・ メールの持つ真価を發揮させるにはメールについて詳しく知っておかなければいけない

◆ メールの特徴 ◆

● 履歴が残る

- ・ 相手の情報を忘れても心配ない => 忘れちゃう人はメールで聞きだす
- ・ デート前に見直してのぞむ => 会話のネタに
- ・ 相手も見直せる => 感動メールは最高 悪口メールは最悪

- **送る前に見直せる**

- 事前にヘマが防げる => 会話よりも話を盛り上げやすい
- 相手に与える情報をコントロールしやすい
=> ミステリアスな男を演出

- **いつでも好きな時に送れる**

- アプローチに幅が広がる
=> 朝一で元気を送り、プレゼンの前に励ませる
- ストーカーまがいのことも簡単にできる
=> 十分に気をつけていないとあなたも・・・

- **話の主導権を握りやすい**

- 聞き上手のテクニックが有効に
=> まさに話ベタ男には桃源郷（笑）

- **メールとは基本的には文字情報である**

- ウソがバレにくく
=> 実際の表情やしぐさはわからないから

- **携帯メールならほぼ確実に読まる**

- 少なくとも読まれはするのがメール
=> つい返事をしたくなる内容

- **言葉が軽いと思われる**

- メールでの告白は男らしくないという意見が大半
=> 対面に比べて気持ちが伝わりにくく上に押しが弱くなる

- **言いにくいことでも言いやすくなる**

- クサイ台詞はメールで => きっと大丈夫だから（笑）
- なかなか直接言えないことはまずメールで
ワンクッション入れておくと気が楽

- **簡単に無視できる**

- 返事を返すのがめんどくさいと無視
=> そうなるともう交渉の余地はない

※ 誘うのはメールより対面や電話の方が承諾率は高い

- **1対1でやり取りができる**

- メアドさえわかれば普段は話しあげづらい相手とも
1対1の深い話ができる

※ 恋愛においては早めにつながりを作つておくことが肝心

★ 女性をドン引きさせ自らを奈落の底へ突き落とすイタいメール集

- **テンションを下げるようなメール**

- ネガティブなメールなんかもらっても誰もうれしくない
=> 送り続けると相手はメールが来ただけで不快に
- ネガティブなことを書くなら最後はポジティブに終わること
=> 困難にも屈しない男

- **ナヨナヨしたメール**

- 女性は男らしさにホレる => ナヨナヨしちゃあかんでしょ
- 返事が返つてこないからってすぐにうろたえない
=> ヘタに追撃メールを入れると奈落へ・・・

- **下ネタを入れたメール**

- メールだとジョーダンに見えない
=> 下ネタは会話中にさらっとが鉄則

- **意味不明の返信しにくいメール**

- 報告メールは返事に困る
=> 行き着く先は無視、受信拒否

※ 人は基本的に頭を使いたくない

- **催促メール**

- 催促メール = 「お前何様？」
例 「じゃあ、それ終わったら電話して！」
「おい、ちゃんと返事返せよ！」

※ 勝手に彼氏気取りはキツイ

- まだそんなに仲良くない相手からの「今何してるの？」メール

- メールを打つのはめんどくさい
=> 今日何してたかなんていちいち打ってられない
- 女性は「今何してる？」は管理されているようで嫌
=> さらに、連発するとスゴイことに・・・

- **空気を読んでいないメール**

- 女性の中にはメールをそろそろ終わりたいとハッキリ言えない人もいる
=> そういう空気を感じたらさっさとメールを終わる

※ 常に“相手の立場になって考える”こと

- **距離感を無視したメール**

- いきなりズカズカと踏み込まない
=> 基本はスマールステップ
- 最初から2人で「温泉」「遊園地」「旅行」「ホテル」はまずNG

- **負のギャップを引き起こすメール**

- メールではやたらテンションが高いのに普段はおとなしい性格な人は
負のギャップを生み出してしまう可能性がある
=> 基本は普段の自分とメールを一致させておいた方がよい
- メールではそっけないのに実際に会ってみたらすごく面白い人だった
というのはいい意味でギャップを活かすことができる

<補足>

- イタいメールというのがどういうものか知っておくことで
自然とそれを回避することができるようになる
- メールは送る人によって結果が全く違ったものになる
好きな人からのメールならどんなメールでもうれしい
嫌いな奴からのメールはどんなメールでもウザい

第3章 テクニックを学べ

★ 基本テクニック

• 名前を入れる

- 呼び方は早めに決めた方がよい
=> それだけで仲良くなれるスピードが変わってくる
「何て呼べばいい」とメールするだけ
- オススメは下の名前
=> 恋愛関係に発展させやすい
- あなた1人のためにちゃんとメールを打ちましたということが伝わる
=> 一斉送信は印象悪い

• 返信するタイミングの見極め方

- 基本はメールの長さも返すタイミングも相手に合わせる
=> 相手と適切な距離感を自然と保てる
- 時々即レスしてみたり、長いメール、短いメールを使って変化をつけていく

• 件名の効果的な使い方

- 件名は使ったほうがよい
=> 一番目立つし無いと何か寂しい印象を与えるから
- 何も件名を思いつかなければとりあえず
「あいさつ」+「名前」でよい
- 興味を引くような件名を書ければ一番いい
例 件名：「おれ見ちゃったんだ・・・」
本文：「この前話してた映画、一足先に見てきちゃった＾＾
めっちゃよかったです！〇〇も早く見たほうがいいよー」
=> 女性はメールが来るのが楽しみに

• 「自己開示」+「質問」の方程式

- 質問だけのメールよりも「自己開示」+「質問」のメールの方が相手も答えやすいので話が盛り上がる
例 「普段どんな音楽聴いてる？」
=> 「最近 XJapan にハマッててねー♪
何かエネルギーになってるよ↑
〇〇は普段どんな音楽聴いてる？」

◆コラム～ファーストメールについて～◆

- ・ 飲み会後のファーストメールの基本は
「飲み会の感想」+「ちょっとした気づかい」
例 「今日は盛り上がったなあ＾＾
○○とも楽しく話せて、仲良くなれたしよかったよ
酔っ払ってんだから帰りは気をつけてね」
- ※ ファーストメールで誘うのはよろしくない
=> がつき過ぎ

★ 上級テクニック

・ 相談メール

- ・ 相談を持ちかけて相手の自尊心を刺激してやれ
=> 軽い相談から深い話へと徐々にシフトが基本
- ・ 相談は相手が答えられることを聞く
=> 答えられない相談をしても自尊心をつつけない
- ・ 相談をしてお礼を言った後にこの一言を付け加えろ
「また何かあったときは相談してもいい？」
=> つながりを作ることができる

・ 1通読みきりメール

- ・ 簡単に言えば「相手からの返事を期待しないメール」
- ・ 甲本がよく使っているのは以下の4つ
 - ✓ ちょっとした小話
例 件名：おれ達は星のかけら☆
本文：
「友達からちょっとロマンチックな話を聞いたから紹介するよ＾＾
○○が死んだら土に還るよね。で、土は地球の一部。
地球もやがては寿命が来て、すべてバラバラになってしまう。
そして、そのスターダストから新しい星が生まれるんだ！！
つまり、おれも○○も星のかけらなのさ☆
もしかして今まで星を見ながら自分もあーいうふうに輝きたい！
とか思ったことある？
大丈夫！なれるから（笑）
なら、また面白い話があったら紹介するよ
またね＾＾」

✓ 励ましの言葉

例 「〇〇ならいつも通りやればきっと大丈夫だから
これまでの努力はおれが知ってるし＾＾
がんばれよ！応援してるから☆」

✓ 写メ

例 件名：おはよ♪

パンジーの写メを添付

本文：

「うちの母ちゃんが育ててるパンジー（絵文字）

これ見たら朝から何かホッとしたから

〇〇にも送ってみた（絵文字）

」

✓ 茶目っ気のあるメール

例 件名：衝撃的な朝！

本文：

「おはよう、〇〇

昨日は飲み過ぎてね（苦笑）

寝起きでぼーっとしたまま顔を洗おうとしたら

なんと・・・！？

一瞬、歯磨き粉で洗顔しちゃったよ（笑）

どうりでミントの香りが・・・

衝撃的な朝でした（笑）

」

- **以心伝心メール**

- 相手がよく見るドラマやお笑い番組なんかを自分も見て CM 中や終わった後に感想を言い合う
=> 感想を言い合うことで同じ気持ちを共有することができる
 - いつしか毎週決まった時間（ドラマやお笑いがある時間）になると自然にメールのやり取りが発生するようになってくる
=> つながりが強くなる
- ※ 否定的な言葉は吐かないように

- **一気に揺さぶりをかけるテクニック**

- 明らかに相手が悪い場面（向こうから謝罪メールを送ってきてている）ではわざとブチギレて見せる
=> もちろんジョーダンで
- たとえジョーダンでもドキドキさせればこっちのもの
=> そのドキドキがいつしか恋心へと

- **女性の頭からあなたが離れなくなるテクニック**

- いい感じになったところであえてそっけないメールをする
 - ✓ 相手のメールよりも短く返す
 - ✓ ふだんより絵文字の数を減らす
 - ✓ 相手よりも少し遅く返信
=> 相手はあなたのことが気になりだす
- そっけないメールで不安にさせといて会ったときには2割り増しで明るく接する
=> 人は不安な気持ちを解消してくれる人に好意を抱く

◆コラム ~どのくらいの連絡頻度がいいのか?~◆

- ベストな連絡頻度の見極め方
 1. 「前の彼女にはおれがあんまりメールとかしなかったから振られた」
=>それに対する相手の反応を見る
 - ✓ あんまりメールを頻繁にしない女性
→「えー！？ そんなことで振られたのー？」
 - ✓ メールして欲しい女性なら
→「それはあんたが悪いよ」

2. 「でも、一応おはようメールとおやすみメールは
毎日おれから送ってたんだけどね」
=>この質問でさらに詳しく調査する
- ✓ もっと頻繁にして欲しい女性なら
→「それじゃ足りないよね」
 - ✓ それで十分だと思う女性なら
→「えー、結構マメにしてたのにね」

第4章 戰略的メール術

★ 最強の恋愛戦略 QUEST の概要

- QUEST というのは5つのステップから成り立つ
 - 1. Qualify (資格を得る)
 - 2. Understand (理解する・理解される)
 - 3. Educate (教育する)
 - 4. Stimulate (興奮させる)
 - 5. Transition (移行する)

※ すごく大雑把にまとめると

- I. まずは友達になる
- II. アプローチするための情報収集
- III. 男としての価値を植えつける
- IV. 興奮させる
- V. 恋人になる

★ メールにおける QUEST 戦略

- QUEST の流れに覚えたテクニックを当てはめていく
- | | |
|---|---|
| Q | ファーストメールの基本 「感想」 + 「気づかい」
1通読みきりメール |
| U | 情報収集 => 「自己開示」 + 「質問」 |
| E | 相談メール 以心伝心メール
1通読みきりメール |
| S | 一気に搖さぶりをかけるテクニック
女性の頭からあなたが離れなくなるテクニック |
| T | 恋人へ |

おまけ

今現在僕が出している情報を一通りまとめておきます。
これらの情報は全て無料で提供していますので
気になるものがあればぜひ手にとってみてください。

◆ メルマガ

「モテるための絶対ルール！」

<http://archive.mag2.com/0000263806/index.html>

(恋愛に役立つ情報をバンバン配信しています。
まずはバックナンバーを1つ目を通してみてください)

「甲本次郎のシークレットメルマガ」

(シークレットなので登録フォームは自分で探してください 笑)

◆ 無料レポート

「恋愛論」

<http://koumoto.secret.jp/renairon.pdf>

(僕の恋愛理論の入門書ですね。入門と言っても内容はかなり濃いですが)

「ホメドラッグ」

<http://koumoto.secret.jp/home-drug.pdf>

(S.R.D method という中毒を起こすホメ方を解説しています)

※ 無料レポートはどちらも直接右クリックで保存できます。

できない場合は上記の URL を直接ブラウザに貼り付けてくださいませ。

◆ ブログ

甲本次郎のブログ

<http://blog.livedoor.jp/koumotojirou/>

(僕が実際に受けた恋愛相談を元に記事を書いています)

◆ 5日間メールセミナー

<http://www.koumotojirou.com/mail-seminar.html>

(5日を通して恋愛のいろんな場面で使えるテクニックを解説します)

エピローグ

ここまでお疲れ様でした！

僕はこのレポートのように無料で提供するものに関しては
手抜きは一切していません。

メールに関して今の僕が持てるものは大体出し切ったと思います。
僕は全力でやりました。

なので、次はあなたに全力でこのレポートから
1つでも多くのスキルを盗み取って欲しいと思います。

ここで、僕がこのレポートを作成した目的をお話しましょう。

わざわざメールに関するレポートを出したくらいなのであなたに
メールスキルを磨いて欲しいというのは当然としてあるんですが

それ以上に恋愛を学ぶことによって
あなたの男としての価値を高めてもらいたかったんですね。

恋愛というのは1人ではできません。

あなた1人が幸せになるだけでは不十分で
必ず相手の女性をも幸せにしなければ
恋愛における成功や幸せは得られないわけです。

が、世の中はどうでしょうか？

軟弱な男共が多すぎませんかね？

身勝手で他人の幸せなんか考えられないという
余裕のかけらすらない奴が溢れています。

悲しいことですよ。

彼らが身勝手なのは弱いからです。

男なら強くあります！

せめてホレた女の1人くらいは幸せにしてやれるくらいに。

それが男として生まれてきたからには
1つの使命だと僕は思っています。

もちろん簡単なことではありませんよ。
とてもとても険しい道だと思います。

でも、だからこそやる価値がある。
そう思いませんか？

自分を磨き続けてください。
どんどん成長して視野を広げてください。

そうやって、とことんまで強い男になって
あなたの大切な人を誰よりも幸せにしてあげてください。

それが僕がこのレポートに込めた願いです。

ではでは

またどこかでお会いしましょう。

最後までお付き合いいただきありがとうございました！

甲本次郎